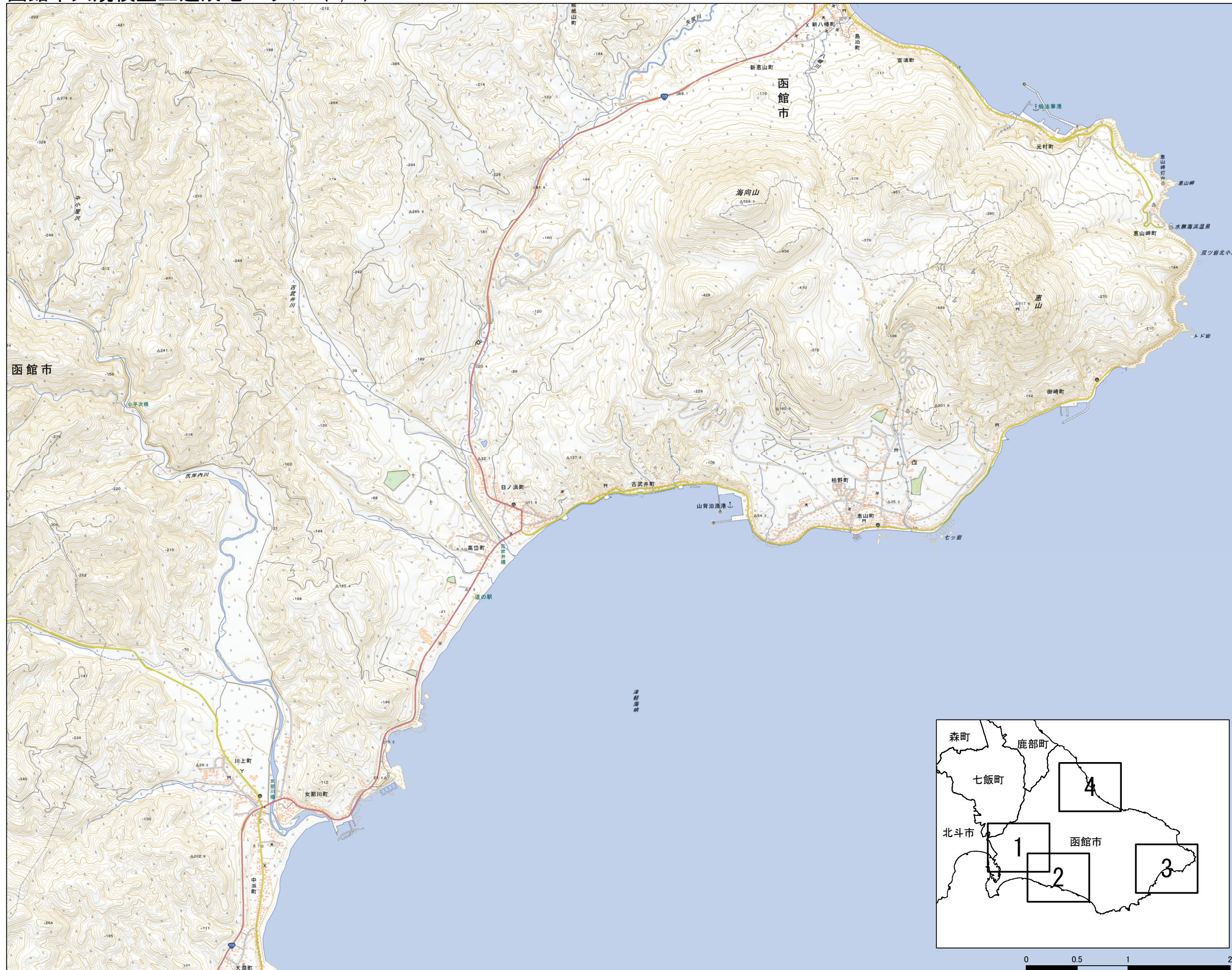


# 函館市大規模盛土造成地マップ (3/4)

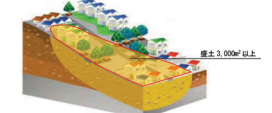
本マップは造成前後の地形の変化をもとに抽出した盛土を表示したものです。  
 造成前の地形は昭和23年、34年（一部大正6年）の国土地理院発行1/25,000旧版地形図を用いています。なお旧函館市街地は造成前の地形が確認できる昭和35年、43年、45年、53年の大縮尺地形図を用いています。  
 造成後の地形は国土地理院の2019年時点最新の電子地形図（タイル）および平成23年、24年、25年取得の基礎地図情報数値標高モデル（5mメッシュ）を使用しています。なお旧函館市街地は造成後の地形が確認できる平成29年の大縮尺地形図を用いています。  
 盛土の抽出に用いた資料より古い地形図等が確認された場合、盛土が追加される可能性があります。また、盛土の位置・規模は今後の調査により見直されることがあります。



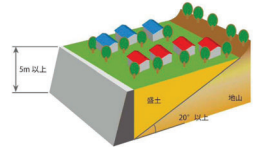
このマップは、大規模盛土造成地のおおよその位置及び種類を示したものです。

大規模盛土造成地とは、下記に記載する盛土造成地（谷埋め型・腹付け型）をいいます。

・谷埋め型  
 谷を埋め立てた宅地で盛土の面積が3,000㎡以上の盛土造成地



・腹付け型  
 傾斜地盤上に盛土した宅地で、盛土する前の地盤面の傾斜が20°以上かつ、盛土の高さが5m以上の盛土造成地



- 凡例
- 大規模盛土造成地
  - 谷埋め型
  - 腹付け型

A2サイズの紙に印刷するとおおよそ2万5千分の1の縮尺になります。

A4サイズの紙に印刷するとおおよそ5万分の1の縮尺になります。

